

～やっぱいいなあ大関～

どよみ大関

2023年3月号

Vol.29

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター



カフェコーナー壁画完成 記念撮影(上) 除幕式(下)

もくじ

- カフェコーナー壁画完成 (2)
通学路チェック with DX
応援横断幕
- ゴミ探検 DX (3)
SDGs 啓発チラシで環境保護を呼びかけ
「ストップ！ポイ捨て」いねずで街頭啓発
- ひよこカフェ (4)
イルミネーションで癒しの空間を
ご長寿のお祝いを真心中
コミュニティセンターの机と椅子を新調
- 442年ぶりの皆既月食と惑星食を見た！ (5)
越前カンタケ栽培講習会
ミニ門松作り
令和5年第1回大関地区区長会
- 大関えがお朝市が大盛況！ (6)
子ども農園の秋野菜を収穫
避難所運営ゲームで防災意識を高めよう
- ニューススポーツ体験で幅広いつながりを実感 (7)
令和4年度福井県県民社会貢献活動で知事表彰
大関コミュニティセンターが優良公民館表彰を受賞
福井県公民館広報紙コンクールで優良賞
- ガンバ大関 (8)
編集後記



◆カフェコーナー壁画完成

昨年3月に「あたらしいカフェコーナー」がオープンしましたが、外の「カフェコーナー」に「じいろ」周辺の壁が殺風景だったので、壁画を描こう！ということになりました。さっそく坂井中学校の美術部の生徒にデザインをお願いしたと



ころ、大変素晴らしい原画が出来上がり、7月から塗装作業にとりかかりました。夏休み期間中はたくさんの子どもたちも色塗りに参加してくれました。炎天下の中での色塗りも

大変でしたがとっても楽しかったです！作業には、延べ151人の住民が参加して11月末にようやく完成！12月27日の除幕式には、教育長も駆けつけてくださり盛大に式典を開催することができました。明るくなったカフェコーナーでどうぞお過ごしください。



◆通学路チェック with DX



大関小学校PTAと大関コミュニティセンターは、防犯隊の協力を得て11月5日（土）主要な通学路を歩きながら危険個所のチェックを行いました。当日は、好天に恵まれ、子どもたちと地域の大人たちが散歩するような感じで点検することができました。

今回は、特に坂井市のDX推進室の協力をいただきながら、タブレットで危険個所を写真に撮り、グーグルマップで公開できるようになりました。



R4 大関地区
安全マップ

地図で公開することで、保護者の方や地域住民の方がいつでも確認することができ、子どもたちと危険個所を共有することもできるようになりました。場合によっては、修繕などの要望にも活用できます。

令和5年度はさらに範囲を広げ、危険個所のチェックを行っていきたいと思います。



◆応援横断幕

大関地区区長会と大関まちづくり協議会では、地域で活躍し、さらに成長する「大関の星」を地区住民の方々に広く知ってもらい応援いただけるよう大関コミュニティセンターに横断幕を掲示しています。



◆ゴミ探検DX

大関クリーン隊は、今年で3回目となるクリーンアップ作戦「ゴミ探検」を実施しました。探検に先立って10月20日(木)に大関小学校で「プラスチックごみと環境問題」をテーマに出前授業を行い、プラスチックごみが地球の生態系にも影響を及ぼしていることを学びました。



そして、11月3日(木・祝)のゴミ探検当日は、大関小学校や坂井中学校の児童生徒、地域住民60

人が参加しました。今年は、坂井市のDX推進室の協力のもと、タブレット端末を活用しての探検に挑戦することができました。探検後は参加者で意見を発表し、自分たちにできることなどを話し合いました。

なお、探検結果は、QRコードで公開し、グーグルマップ上でどこにどのようなゴミが落ちていたかが一目瞭然です。ゴミのないまち「大関」に向けた新たなステップとなりました。



R4 ゴミの調査結果

◆SDGs啓発チラシで環境保護を呼びかけ



大関地区をゴミのないきれいなまちにしたいとの思いを持つ、大関小学校と坂井中学校の児童生徒から96点の力作が集まり、審査会で入賞11点が選ばれました。

また、「さかい未来創造座談会」でキッズクリーン隊が提案した、坂井市役所アトリウムでのSDGs啓発チラシコンテストの作品展示が実現。10月17日(月)から28日(金)まで、市役所を訪れた多くの人へ環境保護のメッセージを届けました。10月25日(火)には、大関小学校5年生36人が坂井市役所を訪れ、展示のお礼と環境学習やゴミの調査について坂井市長と教育長へ報告しました。坂井市役所のアトリウムで堂々と発表する児童たちの勇姿がとても輝いていました。

◆「ストップ!ポイ捨て」いねすで街頭啓発

大関地区の環境保護のみならず地球環境保護への意識向上を目的に、SDGs啓発チラシコンテストの入賞作品でマスク入り啓発品を作り10月29日(土)、キッズクリーン隊は、いねすの買い物客にポイ捨て禁止の啓発活動を行いました。



買い物客からは「良いことをしているね」「頑張ってるね」などたくさん声をかけてもらっていました。

キッズクリーン隊の自分たちのまちをきれいにしたいという思いがたくさんの人に伝わり、ポイ捨てのないきれいなまちになることを願っています。



◆ひよこカフェ



子育て中のママ達に日頃のストレスを解消し、コミセンや児童館という素敵な居場所があることを知ってもらおうと12月20日(火)、大関コミュニティセンターでひよこカフェを開催しました。

ひよこカフェでは、みんなで美味しいコーヒーを飲みながらお話をしたり、赤ちゃんの足形や手形をとってマイエコバック作りをしたりと楽しいひと時を過ごしていただきました。

このように大関コミュニティセンターでは、子育て中のパパママや孫守り中のおじいちゃんおばあちゃん誰でも、平日の午前中にお子様と一緒に楽しめる居場所づくりをしています。みなさんも大関コミュニティセンターで美味しいコーヒーを飲みながら楽しい時間を過ごしませんか。



◆イルミネーションで癒しの空間を

11月23日(水・祝)に光のカーテン事業として、大関コミュニティセンター周辺に植樹されている木々へのLEDイルミネーション設置作業を実施しました。

当日は事業メンバー13名のほか、坂井きらめきの方などにもご協力いただきまして、荒天の心配もありましたが無事に設置を完了することが出来ました。

コロナ禍に入ってイルミネーションの設置を断念した年もありましたが、一昨年より再開させることができました。また、今回は駐輪場にも設置して彩りを増やしてみました。

地区の方々はもちろん、コミュニティセンター周辺を通行する方々にも『大関地区の季節の風物詩』として、楽しんでいただけたと思います。来年度もお楽しみに。



◆ご長寿のお祝いを真心で

大関地区内の75歳以上347人の方を対象に、区長さんを通して敬老のお祝い品を配りました。

各区の区長さんが家庭訪問し、「不織布マスク」「タオル」「小学生からの励ましのメッセージ」を配り、声かけをしながら見守り活動を行いました。上関区の高橋勝彦区長と一緒に祝い品を配った大関小学校3年生の高橋和希さんは「これからもお元気でいてください」と優しい言葉をかけていました。



◆コミセンの机と椅子を新調

交流ホールと研修室の机と椅子が、宝くじの助成金で新しくなりました。これまで重くて、また、傷みが激しく使いにくかったものが、軽くて使いやすいものに入れ替わり、利用者からは「会議の準備が楽になりました」「ワークショップでの作業が快適になりました」などの喜びの声が聞かれました。研修や会議などでお使いください。



◆442年ぶりの皆既月食と惑星食を見た！



11月8日（火）大関小学校のグラウンドで皆既月食の観望会を行いました。昨年に引き続き2年連続の皆既月食でしたが、今年は天王星が月の後ろに入る「惑星食」と皆既月食が同時に見られるという442年ぶりの珍しい天体ショーでした。午後6時過ぎには月が欠け始め、午後10時頃には満月に戻りました。

観望会が始まると続々と住民の方がこれ皆既月食が始まったころには100人を超える方で賑わいました。

地球の影に完全に覆われる「皆既食」になると、あたり全体が暗くなり、言葉では表せないような神秘的な雰囲気に包まれました。月を眺める皆さんからは「綺麗ですね」「感動しました」などの声が聞かれました。「惑星食」は時間も遅く、限られた人しか見られませんでした。青い天王星が月の後ろに入っていき瞬間は宇宙の神秘さを感じる瞬間でもありました。



◆越前カンタケ栽培講習会

11月15日（火）に越前カンタケ栽培講習会を開催しました。越前カンタケは福井県特産ブランド品の認定を受けたきのこです。毎回、開催を心待ちにしてくださる方も多く、人気のある講座です。受講者の方からは「初めて参加したけど、簡単で楽しかった」「きのこは、体にいいし、冬の鍋料理に重宝する」「去年、たくさん収穫出来て嬉しかった。今度も楽しみ」と喜びの声がありました。



◆ミニ門松づくり

12月21日（水）に大関児童館と共催で「ミニ門松づくり」をしました。本物の竹や松などを使った門松は小さいけれど本格的で子どもたちは出来栄えに満足そうでした。講師から「門松の言われはね、幸せを持ってやってくる歳神様の目印なんだよ」と聞くと、子どもたちは「お正月、玄関に置くね」と嬉しそうに話してくれました。



◆令和5年第1回大関地区区長会

第1回区長会では、今年の大関地区区長会の正副会長が選出されました。今年1年間、大関まちづくり協議会とともに大関地区の活性化に取り組んでまいります。

令和5年	大関地区区長会役員（敬称略）	
会長	田嶋	節和（大味下区）
副会長	龍田	峯夫（小路区）
副会長	伊藤	吉孝（下蔵区）

◆大関えがお朝市が大盛況！

今年2回目の大関えがお朝市を11月20日(日)、大関コミュニティセンターの正面駐車場で開催しました。

朝市グループの7人が自宅でも多く採れた新鮮な葉物野菜やサツマイモなどをお安く提供。大関小学校5年生は大関小学校の子ども農園で採れたダイコンの販売方法や値段などアイデアを出し合い、自分たちが育てたダイコンの美味しさをお客様へアピールし心を込めて売りました。また、おばあちゃんたちのブースや焼いもコーナーのお手伝いを進んでやる姿が、とても微笑ましく見えました。

採れたて野菜のスムージーの試飲や子ども農園で採れたサツマイモで焼いもの振る舞いもあり、お客様も大喜びの朝市となりました。来年もお楽しみに。



◆子ども農園の秋野菜を収穫

9月から育てたダイコンを11月18日(金)に収穫することができました。立派に育ったダイコンは大関えがお朝市で販売し、5月に植えたサツマイモも朝市で焼いもを作り振る舞いました。サツマイモを試食した児童や買い物客からは、「ホクホクで美味しい!」と大好評でした。



◆避難所運営ゲームで防災意識を高めよう

今年もコロナ禍の中、10月16日(日)大関コミュニティセンター交流ホールにて、53名の方に参加いただき防災訓練が行われました。



今回も避難所運営ゲーム『HUG』を中心に、小学校を避難所としていろいろな条件での避難所生活を机上で体験しました。初めて参加された方も多く、実際にやってみると、「毎年訓練していくことが大切ですね」などの感想がありました。近年、日本各地また世界各地で災害が発生しています。今回、参加者全員が考えながら真剣に学びました。これからも、いつ、どこで災害が起こるかわかりません。防災訓練を通じて、防災意識を高めていかなければならないと思いました。

◆ニュースポーツ体験で幅広いつながりを実感



大関まちづくり協議会の新事業である「わくわくニュースポーツ体験事業」が、11月13日（土）に大関小学校体育館にて開催されました。

ニュースポーツとは「だれでも、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめる」スポーツとして、全国的に普及しはじめています。今回の体験事業では、車椅子バスケット、スポーツチャンバラ、ターゲットバードゴルフ等、計7種目を体験する事ができました。

参加者は子供から高齢者まで総勢76名。子供達の一番人気は車椅子バスケット。実際に車椅子に乗ることで「車椅子の方の視線を知る事ができて貴重な体験ができた」と喜んでいました。



パパ達に人気なのは「スポーツチャンバラ」。子供時代を思い出し、刀を振り回し汗をかいていました。（次の日、皆さん筋肉痛だったらしいです。）

高齢者に人気だった「ターゲットバードゴルフ」。バトミントンのシャトルをゴルフクラブを使いゴールに入れる競技です。上手な方も多く、楽しそうな声が響いていました。

ニュースポーツは子供から高齢者、男性も女性も、身体にハンディのある方でも、誰もが同じ場所に立ち、同じスポーツで汗を流し、笑顔になり称え合う事ができます。今回の体験事業を通し、大関に住む幅広い世代や環境の人々がまた少し繋がり合えたような感触があり、とても誇らしい体験事業だったと感じています。

◆令和4年度福井県県民社会貢献活動で知事表彰

大味中区の田崎澄子さんが、長年にわたって、地域の花壇づくりや県花いっぱい運動推進員、民生委員児童委員そして小学校の登下校の見守り隊として活躍されてきたこと、このたび福井県県民社会貢献活動功労者として表彰を受けられました。大変におめでとうございます。



副知事と共に

◆大関コミュニティセンターが優良公民館表彰を受賞

大関コミュニティセンターが、このたび、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、人づくり、地域づくりに貢献している優良公民館に贈られる文部科学大臣表彰を受けました。地域の皆様のご活躍が評価されたものです。住民の皆様とともに喜びあいたいと思います。



◆福井県公民館広報紙コンクールで優良賞

大関まちづくり協議会と大関コミュニティセンターで年2回発行している広報紙「どすこい大関」が福井県公民館広報紙コンクールにおいて優良賞に選ばれました。これからも、読みやすく、お手にとってもらえる広報紙を目指して紙面づくりに取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



ガンバ大関!!

大関まちづくり協議会では、大関在住者や出身者の方々が
地区内外で頑張っている姿を紹介します！



今回のガンバ大関は、
福井県立歴史博物館で
学芸員として活躍されて
いる伊藤大生さん(小
路区)をご紹介します。

Q. この職業を選んだ理由は。

A. 中学、高校の時は野球部で高校卒業後は自動車の
工場で働こうと思っていました。たまたま、大学
に行けるかもしれないということになり、大学
に行くなら4年間好きなことをやりたいと思いま
した。私は、この大関の田んぼが広がる景色が好
きだったので、この景色がどうやってできたのか
を知りたくて大学で歴史地理学を学ぶことを決め
ました。今もその気持ちは変わらず、この職業を
選びました。

Q. 景色から何がわかるのでしょうか。

A. 米がとれなくなったときに蚕を飼って桑畑が多
くなったことや、一方で何百年も同じ場所に田んぼ
を残し、大切にしてきたことなど、その時その時
の人々の生活の仕方や価値観がわかります。

Q. 村に注目されているのはどうしてですか。

A. 私が好きな田んぼが広がる景色は、村で暮らす
人たちが生活する中でつくりあげたものです。こ
の村人たちは、有名人ではない、普通の人たちで、
彼らがどう考え、どう生活していたかを知るため
に、村に注目しています。

Q. どのような資料を活用されるのですか。

A. 資料は博物館にもありますが、地元で大事にさ
れている資料の方が多く
あります。水路、土地の
ことなどはもめることが
あるので、同じ村人や隣
村とも話し合うため、村
で保管されてきました。
調査は、現地に行って調
べなければなりません。



福井県ホームページより

Q. 今取り組んでいるお仕事はなんですか。

A. 今年の10月から「川」をテーマにした大規模な
展示を行います。有名な画家である伊藤若冲の
絵も借りてこようと思います。伊藤若冲が舟に
乗った記録があり、景色を描いた絵もあるので
そこからわかることがあると思います。坂井平
野の十郷用水の絵図も展示する予定です。



YouTube「景色の歴史をたどる」より

Q. 県立博物館で仕事を始めて2年になりますが、 この仕事をするにあたってよかったこと、嬉し かったことは何でしょうか。

A. 村に行って調査をするのですが、その時に誰
も取り上げてこなかったものや、誰も知らなかつ
た古いものに出会ったときは良かったと思いま
す。また、自分が調べて面白いと思った歴史を
伝えたときに、相手も面白いと感じてくれた時
は嬉しく思います。

Q. 今後の抱負や最終的に目指していることを教え てください。

A. 今後も大関はもちろん坂井平野の景色がどう
できたかを調べたいです。景色には、そこに
暮らしてきた人たちの生活とか価値観が大きく
関わっています。坂井平野に暮らしてきた人た
ちの景色の歴史を調べ、江戸時代から現在まで
の生活や価値観の変化を調べたいです。

今日は興味深い話をありが
とうございました。身近な
ところに私たちの知らない
ことがたくさんあることに
驚きました。これからのご
活躍を祈ります。



編集後記

どすこい大関第29号の発刊にあたり、様々な事業に協力してくださ
った地域の皆様に御礼申し上げます。また、取材協力頂いた方々、本当に
ありがとうございました。これからも「やっばいいなあ大関」と思えるまちづくりをしていきたい
と思いますので、事業に興味のある方は気兼ねなく事務局までご連絡ください。今後も参加型のイベ
ントがありますので大勢の参加をお待ちしております。笑顔あふれる大関を地域のみんなで一緒に築き
ましょう。(T.M)



LINE 公式アカウント

050wwwps

検索



Instagram

大関コミュニティセンター

検索



大関まち協メールアドレス
ozeki-p@mx3.fctv.ne.jp

大関コミセンメールアドレス
ohzeki-cc@city.fukui-sakai.lg.jp